



SSKS



ほっと

「ほっとスペース八王子」ニュース

2006年5月18日発行

第111号

定価 100円

編集人 堀部 正  
発行所 八王子市八幡町二丁目二番  
郵便振替 E-Mail 郵便局  
FAX 電話

八王子市八幡町二丁目二番  
「ほっとスペース八王子」(代表) 堀部 正  
〒192-0276  
04-261-2113  
04-261-0176  
http://homepage2.nifty.com/hot-space/  
CXB01672@nifty.ne.jp  
001-8077-6246 「ほっとスペース八王子」  
世田谷区砧六丁目二番 障害者団体定期刊行物協会

目次

現状と課題：今年度もよろしくご協力ください	2
特集：第17回2006年度定期総会	
初めて参加した総会 / 僕もやったよプレゼン / ピラ配りもせず、ケーキも食べ過ぎた総会	3
今年も定期総会の横断幕は僕が書いた / 初めての議案書提起にドキドキ	4
活発な議論が出来て良かった / 受付担当で、少し緊張した / 運営委員となって初めての総会	5
プレゼンで拍手をもらってうれしかった / 【投稿】	6
【投稿】	7
特集：「障害者自立支援法」撤廃街頭宣伝	
ピラを受け取らない人には腹が立つ / ピラを受け取らない人がっかり / 市役所管財課の職員にはひるんだけど / 署名も集まった	8
署名とピラ配り、両方頑張りました	9
いろんな種類のピラを配った / ピラを受け取ってくれるとうれしい	10
一仕事したという実感があった / 「日の丸・君が代」強制は戦前回帰	11
卒業式でのピラまき / まささんと国会に突入した / ピラを受け取らない人は心が冷たい / 学校は自由な場所であって欲しい	12
「障害者自立支援法」撤廃の署名を会場で / 国会までデモで頑張った / 私の知っている先生が処分された	13
投稿：今後の「障害者自立支援法」撤廃運動について	14
特集：ほっとイズムとは	
「ほっとスペース八王子」の今後と展望を考える	15
ほっとイズムとは	16
「精神病者」解放運動の論理	19
編集後記	20



「ほっとスペース八王子」総勢でピラまきました(2006年3月16日都立南多摩高校)

新年度が始まりました。今年度で各自治体が助成金制度で運営を任せていた共同作業所などの「精神病者」施設が「障害者自立支援法」内の施設に切り替わると言われています。助成金も今年度までは確保されていますが、来年度以降は保障されていません。  
しかし、何度この紙上で述べていますが名前だけは立派な「障害者自立支援法」は「精神病者」「障害者」を基本的に社会の片隅に追いやろうというものです。お金のない一人暮らしが出来ない「精神病者」「障害者」はこの法の対象外だからです。さらに、「ほっとスペース八王子」のようなこじんまりと細々と地域で活動している共同作業所の存在を脅かす法律でもあります。各共同作業所は各々の個性を發揮し、「精神病者」「障害者」の特性に応じた細やかな対応が出来るようなものとして七〇年以降、う

曲折を経て今日まで発展してきました。このような細々とした運営で活動してきた共同作業所も「障害者自立支援法」では運営不可能になります。自分の背丈に

# 現状と課題…今年度もがんばります

合った共同作業所に巡り会えた「精神病者」「障害者」は行く場所が奪われてしまうことになります。  
そして、わずかな収入が少しでも減らないように家の中に、自分の部屋に閉じこもるしかなくなっていくます。これが「障害者自立支援法」によって「精神病者」が進むだろう行方です。全くひどいものです。米軍の引越し代金三兆円は支払っても、国家財政の破綻のツケを払わされるのは「精神病者」「障害者」なのです。国家財政から社会保障予算がこうやって削減されていけば、いすれば「精神病者」「障害者」、高齢者、病弱者は社会から追放されることになります。



「日の丸君が代」集会でもピラまきました(2006年3月31日日比谷野外音楽堂)

う一人の人間として確立する為の新年度の方針を総会で確認し合いました。年度末からの「障害者

自立支援法」撤廃行動は八王子市内だけでなく、立川市にまで拡大して街頭に出て行きました。取り組めば一人ひとりの会員の意識が高揚し、強い政治意識へとじよに育まれようとしています。

「精神病者」「障害者」は今まで通りのあり方では生きてはいけなくなり始めています。「ほっとスペース八王子」は新年度を迎えて、一人ひとりの会員が飛躍し、このような差別社会に敢然と立ち向



ピラまきを妨害する管財課職員にもしっかり抗議して(2006年3月30日市役所入口)

「日の丸君が代」押しつけ反対行動の意味が理解されるし、教育基本法の改悪反対行動や憲法改悪反対行動の意味が理解され始めました。「障害者自立支援法」撤廃の訴えが労働(組合)運動を熱心に進める労働者や市民がしっかりと受け止めてくれることを街頭で学んだからです。  
労働者、市民がヒラを手にくれることや、署名に応じてくれることがどんなに嬉しいことなのか。見向きもしない人は冷たい人という感覚、政治に関心を持たないと自分もこうなっていたら、ピラまきなどの行為を通して、自分が社会とつながっていることを確かめることになっているのです。5月連休明けは街頭宣伝を更に強めていきます。駅頭での訴えを強め、大学へと訴えを広げていきます。みなさんも是非ご協力ください。(文責・堀部)

# 特集：第17回2006年度定期総会

## 初めて参加した総会

林 俊雄

わたしは「ほっとスペースス王子」の総会に初めて参加しました。その中で「ビデオの会」「韓国研修旅行」「生活保護取得活動」「夕食会」の四つのプレゼンをしました。わたしは人前で話すのが苦手でしたがプレゼンも回を重ねることになりました。

また、「夕食会」のプレゼンは当日その場になっていきなりやってくれと言われて初めはともわたしに出来るはずがないと思いでキドキしていましたが、アドリブ

も出てなんとか出来ました。少し緊張しました。そして、書記も担当したのですが、総会が始まる何をどう書いたら良いか分からず初めから終わりまで何も書けずに終わってしまい井田さんに迷惑をかけてしまいました。また、いくつかの議題についての話し合いは少し難しくよく分かりませんでした。

## 僕もやっただよっしゼン

ニッシ

四月八日クリエイイトホールでほっとスペースス王子の総会がありました。スクリーンに合わせて



初めてのプレゼンも何とかやり終えた。すごい緊張だった。

て場面を説明するプレゼンの練習をプログラムの時間に行っていました。自分はリーグ観戦について発表する事になり、文章を用意して総会に臨みました。当日総会が始まり、司会の進行とともに来て下

ざった方々の挨拶等を聞き、いよいよプレゼンの時間が来ました。他の人達は説明が上手だったり発表の仕方が面白かったりで、緊張しました。自分の番が来て読んでいる最中、所々逃げる様に早口で読んでしまいました。でも何とか終わりました。その後、資料の内容を運営委員の人が簡単に説明し質問と堀部さんの回答等を聞き、時間の関係上、議論は手短かに進み、総会は終了しました。他の作業所の人の話しを聞けたり、集中して人の話しを聞く機会があつて、今回の総会に出席出来て良かったです。



30名の参加で「障害者自立支援法」への怒り沸騰(2006年4月4日八王子クリエイイトホール)

## ピラ配りもせず、ケーキも食べ過ぎた総会

小林 雅子

四月八日(土)クリエイイトホールで、「ほっとスペースス王子」の定期総会がありました。「ほっとスペースス王子」に十一時に集まり準備して、それから、八王子駅東急前で集まり、

それから八王子駅の前で、ピラ配りをみんなはしてただけ、山口さんと私は配るのが嫌で、雨だったし寒くて、東急スクエアの中に入って休んでいました。



会場でも真剣に議論を聞いていました(2006年4月8日)

# 特集：第17回2006年度定期総会



今年は昨年より感じの良い字で大書された定期総会の横断幕

きまし  
た。そ  
の結果  
一遍で  
間違わ  
ずに書  
くこと  
ができ  
てうれ

総会当日朝十一時ほっとスペース八王子に着いて  
総会で使う道具を準備してそれから車で移動しまし  
た。  
途中、JR八王子駅前で障害者自立支援法撤廃の  
ピラマシをしてから会場に行きました。クリエイト  
ホールに着き、皆で準備しました。  
一時三〇分、総会が始まりました。最初に代表の  
堀部さんが挨拶し、それから運営委員長の植松さん、  
それから来賓の方々と家族の会の挨拶がありました

た。家族の会の挨拶は私の母親でした。それよりも  
私は挨拶でミスしないかどうか心配でしたがうま  
く出来て良かった。  
その後、昨年度の一週間プログラムプレゼンを皆  
で発表しました。私が発表したのは、パソコン教室  
と卓球でした。もう一つ生活保護申請を発表する予  
定でしたがパソコンで操作する係りの人がうっか  
り終わらせてしまったので出来ませんでした。  
それから、休憩になり議案書の自分が提起する所

四月五日に僕は定期総会の横断  
幕を書きました。横長の大きい紙  
に太い筆を使って第十七回「ほっ  
とスペース八王子定期総会」と書  
きました。僕は上手にうまくいい  
字で書きたいと思って一生懸命書

## 初めての議案書提起にドキドキ

久嶋 茉莉

しくて気分すっきりしました。  
またプログラムは丸い筆を使って書き結構うまく  
書いて気分は満足してほっとしました。

がまあまあ  
出来たかと思いま  
す。  
プレゼンテーシ  
ョンも結構スム  
ーズに発表でき  
ました。司会も  
プレゼンテーシ  
ョンも真面目に  
頑張っ  
てやったので終  
わってやっとほ  
っとしました。

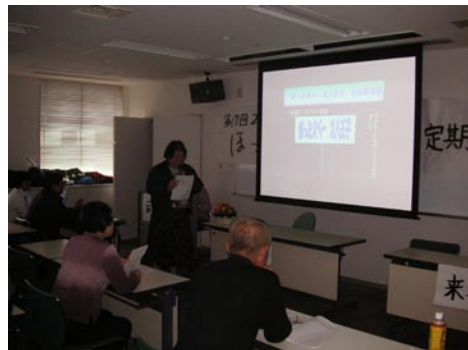
## 今年も定期総会の横断幕は僕が書いた

S・H

ピラ配りが終わった頃、総  
会での受付係の準備のために  
山口咲子さんとクーちゃん  
で、先に、クリエイトホール  
へ行きました。準備が終わっ  
て一時三十分に取りまりまし  
た。  
代表の挨拶と運営委員長の  
植松さんの挨拶、それから、  
来賓の挨拶と、あと家族の会  
では、茉莉ちゃんのお母さん  
が挨拶をしました。昨年度のの

一週間プログラムを発表しました。書道教室  
と、バス旅行の話をした。ケーキがおいしかっ  
た。お昼のためのパンは、二つ買った。お  
腹一杯になったのに、休憩時間のケーキも美  
味しそうなのを二つ食べたかな。お腹がパン  
パンになり、具合が悪くなった。  
皆がピラを配っていたのに、寒くてしょう  
がなくてしょうがなく、東急スクエアに  
入っていました。そのために、みんながやっ  
ていたのに私は店の中に、入ったので、悪  
かったです。帰りも反省会に出ないでさっさ  
と帰ってしまいそれが反省です。

四月八日は  
総会で僕が司  
会をするので  
前日に司会の  
練習をしまし  
た。その時は  
結構すらすら  
とスムーズに  
練習できまし  
た。  
当日は少し  
緊張しました  
がまあまあ  
出来たかと思いま  
す。



100インチの大画面で昨年度の活動を報告する

# 特集：第17回2006年度定期総会



活発な議論で疑問点も誤解も明らかに、

をチエックして、時間になったので始まりました。ほっとスペース八王子の議案書読むのは、今季から運営委員に選ばれた人達と発表しました。私も二期目の運営委員なので第二号議案をクーちゃんと一緒に発表しました。クーちゃん

## 活発な議論が出来て良かった

武田 春海

も今年始めての運営委員なので上がらないかなと思いましたが、うまく出来たので安心しました。自分の方は全くダメでした。総会が終わわりビルディでお疲れ様会をしました。来期はどうなるかわからないけど頑張っ行ってきたいです。

去る四月八日にクリエイトホールで総会があり議長をさせて頂きました。参加した人々の意見がかなりあり時間が足りなくなりました。でも結構成果が上がりました。例えば韓国研修旅行について質問がありました。韓国は日本の隣にあるのですが、日本の指導者達も

敗戦日の靖国参拝をするという事が韓国の不満をかっています。そこで韓国の学生や労働者との運動について色々な意見が出された様です。今年も十一月に四日間研修旅行に行きますが、韓国の「精神障害者」がどの様に一般の市民から見ら

## 受付担当で、少し緊張した

山口 咲子

四月八日土曜日に定期総会があった。私は受付をした、一人ひとりに書類を渡し、飲み物の希望を聞いて書類に書いて間違わないように飲み物の集計をして、少し緊張しました。



受付頑張ってるよ！ちゃんと責任を持って出来るんだよ

プレゼンテーションでは、エレクトーンのプレゼンと夏キャンプのプレゼンをし、障害年金申請活動のプレゼンをした、紙に書いて読んだので、すらすらと言えた。後は総会が終わり、雅子さんが食べ過ぎで気持ち悪いと言ったので皆とは、一緒に反省会に出ずに、富士そばで、ざるそばを食べて帰った。

## 運営委員となって初めての総会

クーちゃん

朝十一時ほっとスペース八王子に着いて総会で使

う道具を準備してそれから車で移動しました。



総会前に JR 八王子駅前で「障害者自立支援法」撤廃のピラを配った

# 特集：第17回2006年度定期総会



富士森の家の芳賀さんは今回は東京都精神障害者共同作業所連絡会世話人という肩書きで挨拶をいただきました。

子の駅  
前まで  
行き、  
三〇分  
ほどピ  
ラまき  
をしま  
した。  
少し

途中でJR八王子駅前前で障害者自立支援法撤廃のピラまきをしてから会場に行きました。会場のクリエイトホールに着き、皆で準備しました。一時三〇分総会が始まりました。

## フジゼンで拍手をもらってうれしかった

本郷 哲也

四月八日ほっとスペース八王子の総会が行われました。クリエイトホールの会議室で一時からでした。集合は十一時に「ほっとスペース八王子」のいつもの部屋で、それからほっと車によってJR八王

雨も降っていて、通行人のピラの受け取りはあまりかんばしくなかった。時間がきたので、クリエイトホールに向かいました。堀部さんと林俊雄さんとほくの3人で、東急スクエアで昼の弁当のい



「身体障害者」や「知的障害者」の共同作業所「ふきのとう」の桶下さんから「障害者自立支援法」への怒りの挨拶をいただきました。

私は今回ほっとスペース八王子の二〇〇六年度第一七回定期総会に参加して、皆様が一年を通してど

僕が発表したの、モノポリと勉強会とボウリングでした。それから、休憩になり議案書で自分が提起する所をチェックして、時間になったので始まりました。ほっとスペース八王子の議案書読むのは、今期から初めて運営委員に選ばれたので頑張りました。僕は二号議案を久嶋茉莉さんと一緒に発表しました。久嶋茉莉さんはうまく出来たので安心しました。自分の方は全くダメでした。

なり寿司を買って、地下の駐車場からクリエイトホールに乗り込みました。会場に着くと黒板に横断幕が貼ってあり、そこに大きい字で「ほっとスペース八王子総会」とS・Hさんのうまい字で書いてありました。



プレゼンはほとんど全員がいました。やればやるほど慣れてきて、堂に入ったもの。

司会や議長、受付などの字もたぶんS・H君が書いたものだろうと思いました。総会で僕は、プレゼンテーション用の自分の原稿を読み、たくさん拍手を貰いました。

全体ミーティングについてのものです。結構時間をかけて書いたので、誉められた様でうれしかった。総会は、韓国旅行にお金がかかりすぎるという誤解があったぐらいで無事終了しました。ほっとスペース八王子ののほりを片付けて、浜さんと駐車券をとりに行つて、皆と分かれてグループホームに帰りました。ケーキを2個食べられなかったこと、2次会のビルディに行けなかったこと以外は、楽しい総会でした。

## 「投稿」S学園短期大学

学生F・A

の様な活動や日常を過ごされているのか、又、今後に向けての目標、今抱えている問題などを拝見する

# 特集：第17回2006年度定期総会



休憩時には美味しいクリエイトのケーキで談笑

事が出来ました。  
定期総会の中で一番印象強く考えさせられたのが、今年の4月に施行された障害者自立支援法のことです。

これまでほっとスペース八王子では自立支援法の廃案の為に国会議事堂の前や駅の前でチラシ配りや署名活動をし、「今年は市役所のソファで寝泊りでもしよう」と意見もあり、初めは反対運動の対する内容を聞いた時は少し恐怖感を感じました。

しかしそこまでしなければ今後の運営を続けていくことが困難だった生活に支障をきたすのだと思うとこれが必死で自分たちの生活を守ろうとしている者の姿な

のだと思いました。

日常生活を見ても、ゲームをしたり勉強をしたりして楽しんでいる姿や頑張っている姿を見ると、国で決められた障害者の為の法律なのにその法律の為に生活を失っていく障害者の方々もいると思うと何の為の法律なのだろうと複雑な思いになりました。今回、見学をしなければこのような厳しい現状や

## 「投稿」S学園短期大学

学生K・R

問題を知ったり、感じたり出来なかったと思います。  
総会を拝見してとても勉強になりました。

障害者の自立を支援

する法律という言葉ばかりが綺麗な、表面的な部分しか知らなかったことを恥ずかしく思いました。  
病院のベッドや施設から追い出して『自立した・

している』とはとてもいえないと思う。それでは元氣な障害者しか生きていけず、憲法第二五条に反していると思う。  
人間らしく生きる権利を奪われようとしている障害者の方々がいるということを、私は多くの人に知ってもらいたいと思いました。

障害者自立支援法の本当の意味を知ってもらい法律の撤廃を社会全体で訴えることができればいいと思います。



JR八王子駅頭で雨の中必死でピラまきし、車載拡声器で大声で訴えました。(2006年4月8日)

私は今回、『ほっとスペース八王子』の定期総会に参加させていただき皆さんの生の声を聞いて、『障害者自立支援法』が施行されることにより障害者を持った方、そのご家族の方々、職員の方を取り巻く状況が劣悪なものになってしまうという実情を、とても身近なこととして感じることができました。

授業で『障害者自立支援法』について学ぶ機会はありませんでしたが、『生活の場を地域に広げていく為の法律』という認識しか持っていませんでした。私は



「障害者自立支援法」で無くなってしまう生活支援センター「あくせす」の花崎さんも「障害者自立支援法」への不満を述べられていました

# 特集：「障害者自立支援法」撤廃街頭宣伝



京王八王子駅前で街頭宣伝する(2006年3月29日)

私達の「ほっとスペース八王子」は自立支援法が極めて「障害者」に対して如何にひどく悪法であるという事を多勢の人々に理解して頂ける様にJR八王子の駅頭にてピラ撒ぎと演説を行ないました。が、なかなかピラを受け取ってもらえず大変がっかりしま

三月二八日(火)はJR八王子駅前で宣伝活動のピラまきをしました。その時は七十枚くらいまきました。その時も、人が受け取ってくれる時はうれしくて、受け取ってく

## ピラを受け取らない人がっかり

武田 春海

ピラを受け取らない人には腹が立つ

S・H

三月二八日(火)はJR八王子駅前で宣伝活動のピラまきをしました。その時は七十枚くらいまきました。その時も、人が受け取ってくれる時はうれしくて、受け取ってくれない時は腹が立ちました。三月二九日(水)に市役所前と京王八王子駅前では結構受け取ってくれる人がいて良かった。



jr八王子駅頭でも頑張ったよ(2006年3月30日)

した。こういう体験は

## 市役所管財課の職員にはひるんだけど

山口 咲子

私は、市役所と東急スクエアの前でピラ配りをした、市役所では、皆、うけ取っても

らえたが、終わり頃、市役所の職員に注意されたので少しひるんだ。東急スクエアのピラ配りは、市役所に比べれば、受け取ってもらえなかった。これから頑張っていきたいと思えます。

初めてなので慣れなくてそのせいなのかという面もあったかなというのが感想です。もう少し経験を積んでいけばもっと成果が上がると思うので、今後も積極的に参加したいと思っています。



市役所管財課の職員の妨害にも毅然と抗議(2006年3月30日)

## 署名も集まった

伊達 マサムネ

三月三〇日(木)にJR八王子駅前の放射線通りの入り口の所(東急スクエアの前)で障害者自立支援法撤廃のピラ配りと署名集めをしました。その日まで署名が集まらなかった僕はその日に一気に10人以上の署名を集めました。署名が集まらなかった理由は自分で集める気持ちが足りなかったからです。

十人以上の署名を集めたと言うよりはむしろ集ったと言った感じがします。集った時に「ラッキー!」と思った反面、本気で集めてる方に失礼だと思いました。これからちゃんと集めます。普段人混みに慣れていない僕は八王子駅の人混みで調子が悪くなりました。人混みを避けてスターバックスと銀行



# 特集：「障害者自立支援法」撤廃街頭宣伝



みんなで頑張ったよ(2006年3月30日JR八王子駅頭)

三月二八日から二九日までJR八王子駅と八王子市役所と京王八王子駅、四月一日には立川駅の近くのホテル前と

## 署名とピラ配り、

## 両方頑張りました

久嶋 茉莉

の間で座って一服していたら大阪から来たと言う二人組の男の子からアンケートを受けました。「趣味は何ですか?」というアンケートに「ポウリング」と答えてポウリングの話で盛り上がった所で一人の男の子が「じゃあ、今から3人でポウリングに行きませんか?」と言いました。もちろん断りました。その後「ほっとスペース八王子」

に帰って紅茶を飲みました。障害者自立支援法が施行されたらますます貧富の差が広がっていくのにな...しかもまじめに署名を集めなかったのに「僕は紅茶なんか飲んでいていいのかなあ...!?」と疑問に思いました。



JR八王子駅頭で署名取れちゃった(2006年3月30日)

駅前まで障害者自立支援法撤廃のピラ配りと署名活動をしました。一日目は、八王子駅の近くの東急スクエアでピラまきと署名活動しました。この日は、ピラまきの方をやりました。去年ピラまいた時とは違いピラも直ぐ終わってしまい署名の方も少し手伝いました。署名の方は、この日は、〇人でした。二日目は、朝八王子市役所でピラまきをしました。最初クーちゃん和市役所の裏でピラまきをしたけれど配るタイミングが悪いため私だけ、自転車置場から通って来る市役所職員に渡しました。ピラまきが終わって一度ほっとスペース八王子に戻り休憩してから今度は京王八王子駅前ではピラまきしました。この時は、風が強く吹いて大変でした。配ってい

るときに紙が風で飛ぶは、手作りの横断幕が少し破れるは、配ってる場所の近くでお店の看板が倒れたりして大変だったです。三日目また朝、八王子市役所でピラまきをしました。その日も二日目と同じ場所で配りました。クーちゃんはやっぱりまた、同じところでした。配っているとき「昨日と同じ物でしょ」と言ったので私も、「昨日と違います」と言ったら受け取った人もいらないと言われたりしました。午後から、初日と同じ八王子市役所スクエアでピラまきと署名活動をしました。この日は、署名の方をしました。署名活動をやっていたとき、久しぶりに山梨の時の友達に会いました。友達の子も一緒に居たので署名も書いてくれました。本当にこの時は嬉しかったです。その日署名の数は三〇名以上でした。それから、一日置いて四月一日土曜日に立川駅の近くのホテル近くでピラまきと署名活動をしました。この日は、きょうさ連のフォーラムがありその日だけ、立川のホテルの前で活動をしました。フォーラムに行く人にこれは、役に立たない法律だと街頭で訴えて署



さあ今日も頑張るぞ!(2006年4月1日立川街頭宣伝で準備中)

# 特集：「障害者自立支援法」撤廃街頭宣伝

名とピラまきをやっていきました。その後、立川駅の前でもピラまきと署名活動しました。でも、さっきよりは

## いろいろな種類のピラを配った

クーちゃん

ラもあまり取ってくれず、署名の方はピラより多かったです。また、ピラまきと署名活動をどんどんやって行きたいと思います。

三月二十八日から二十九日までJR八王子駅と八王子市役所と京王八王子駅、四月一日には立川駅の近くのホテル前と駅前で障害者自立支援法撤廃のピラ配りと署名活動をしました。一日目は、八王子駅の近くの東急スクエア前でピラまきと署名活動しました。この日僕は、ピラまきの方をやりました。去年ピラまいた時とは違いピラも直ぐになく

なっていました

した。二日目は、朝八王子市役所でピラまきをしました。最初久嶋茉莉さんと市役所の裏で



たくさんさんの署名も集まりました(2006年4月1日)JR立川駅頭

びらまきをしたけれど久嶋茉莉さんが自転車置場から通って来る市役所職員に渡しました。ピラまきが終わって一度ほっとスペース八王子に戻り休憩してから今度は京王八王子駅前でもピラまきしました。この時は、風が凄く吹いて大変でした。配っているときは紙が風で飛ばは、手作りの横断幕が少し破れるは、配っている場所の近くでお店の看板が倒れたりして大変だったです。

三日目また朝、八王子市役所でピラまきをしまし

た。その日も二日目と同じ場所でも配りました。僕は八王子市役所の裏でピラを配りました。



良い天気に恵まれ、署名も集まりました(2006年4月1日)JR立川駅頭

配っているとき「昨日と同じ物でしょ」と言ったので僕も、「昨日と違います」と言ったら受け取った人もいれば逆にいらぬと言われたりしました。午後からは、初日と同じ八王子東急スクエア前でピラまきと署名活動をしました。この日は、ピラ撒きと署名の方をしました。

それから、一日置いて四月一日土曜日にJR立川駅の近くのパレスホテルでピラ撒きと署名活動をしました。この日は、きょうさ連のフォーラムがありました。その日だけ、立川のパレスホテルの前で活動をしました。フォーラムに行く人にもこれは、役に立たない法律だと街頭で訴えて署名とピラまきをやっていきました。その後、立川駅の前でもピラまきと署名活動しました。でも、さっきよりはピラもあまり受け取ってくれず、署名の方はピラより多かったです。また、ピラまきと署名活動をどんどんやって行きたいと思えます。

## ピラ受け取ってくれるさっけいい

林 俊雄

わたしは街頭演説とピラくはりに参加してあらた

めて自立支援法の法律がわたしたち「障害者」に



JR立川駅頭でも街頭宣伝を行いました(2006年4月1日)

# 特集：「障害者自立支援法」撤廃街頭宣伝



八王子市役所も妨害もあったけど、二回行いました(2006年3月30日)

日付は忘れましたが、火曜水曜、木曜と自立支援法撤廃のビラ配りと署名集めをやったことについて書きます。火曜日は、東急スクエアの前でビラをまきました。十時集合を八時集合と誤った知らせを伝えられたため、南口のドツールで時間をつぶしまし

## 一仕事したという実感があった

本郷 哲也

とっていかには大切な問題かが分かってきました。演説ではわたしが思ったより道行く人が耳を傾けていました、そしてもっと多くの人に自立支援法によりわたしたち「障害者」が困っている事

を知ってもらいたいと思います。ビラくばりではなかなか上手く声をだしてくばれませんでした。道行く人の方から質問してきたり、今ときの派手な感じの若者が進んで署名やビラを受け取ってくれてとてもうれしく思いました。また、これからはもっと街頭演説やビラくばりに進んで参加したいと思います。



ここでも署名が集まりました(2006年4月1日パレスホテル前)

た。富士そばで立ち食いそばを食べて店を出ると、ほっと車のスピーカーの音がとびこんできました。初めてビラ撒きをしましたが、難しいもんだと思った。とって

ちの方がとってくれました。朝七時半集合と早かったけど、何か一仕事したなという充実感がありました。それに大きな市役所のビルに入っていくたくさんの勤め人の数に驚きました。



八王子市役所前では朝早くから(2006年3月30日)

くれる人の方が少なく、考えてみれば自分だってティッシュもろくにとらないもんなど、改めて認識しました。

水曜と木曜は二日続けて、八王子市役所へ行きました。街頭の人たちより、市役所で働いている人た

## 「日の丸・君が代」強制は戦前回帰

武田 春海

昨今の新聞などを見ると政府与党の意見で入学式や卒業式で日の丸掲揚・君が代斉唱を教師などに押しつけ、従わない時には罰則を科すという、憲法違

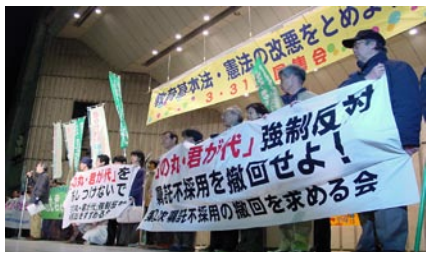
反を強引に押しつけていると思います。第二次大戦で日本が、朝鮮、中国に対して如何に酷い事をやってきたかと知らない人々が多くなって

# 特集: 「日の丸君が代」押しつけ反対行動



汎山の保護者にもピラをまきまりました(2006年3月16日郡立南多摩高校正門前)

わたしは「日の丸君が代」問題についてよく分かりませんが、国が強制するのは良くないと思います。それについて従わないからこゝして制裁を与える



「日の丸君が代」押しつけに反対して処分された先生たちも頑張っています(2006年3月31日日比谷野外音楽堂)

## 学校は自由な場所であって欲しい

林 俊雄

のはなおさら良くない事だと思えます。それを見た子供たちはどう育っていくかと思うと少し心配になります。そして、学校などはもっと自由な所であっ

三月十六日(木)に朝早くから南多摩高校の校門前で日の丸・君が代強制反対のピラまきをしました。僕はピラまきは前

にも厚生労働省に行ったとき街頭でやった事があります。その時はピラを受け取ってくれる人はすくなくやさしい人だと思いましたが、受け取ってくれない人は心が冷たい人だなあと思いました。

南多摩高校で「日の丸君が代」押しつけ反対のピラ配りを行いました。生徒はあまり受け取ってもらえなかったが、お母さん達

## 雅子さんと国会に突入した

山口 咲子

に受け取ってもらえた。

## ピラを受け取らない人が冷たい人

S・H

三月三日八王子工業高校で日の丸君が代のピラ撒きに行ってみました。ピラは大勢の生徒と保護者にとって貰ったので直ぐ

に無くなってしまいました。三月十六日都立南多摩高校で日の丸君が代のピラ撒きをやりました。この日は風が強くてピラを撒くのも大変でした。

## 卒業式でのピラまき

クーちゃん

いると思います。これは教科書検定等で政府の意見を押しつけ事実を歪曲している物です。このままでは戦前の日本へ後戻りしている様でとても憤慨してい

日比谷野外音楽堂でも、日の丸君が代押しつけ反対のピラ配りをしました。その後デモ行進をした、途中でトイレに行きたくなくて、国会に突入してすませた。帰りに新宿に寄り、回転ずしをたべた。その後マクドナルドで反省会をし、その日は無事に終わった。



国会議事堂を背後に(2006年3月31日国会)



国会に怒りのこぶしを(2006年3月31日国会議員会面前で)

# 特集: 「日の丸君が代」押しつけ反対行動

の方が良いと思います。

## 「障害者自立支援法」撤廃の署名を会場でS・H

三月三十一日に東京の日比谷野外音楽堂に行きました。そこで「日の丸君が代」反対の話がありました。その前に僕たちほっとスペース八王子の会員と職員が自立支援法撤廃のピラをまきまいて署名をしてもらいました。その時は通る人はあまりピラを受け取ってくれなかったけど署名は浜さんと二人でやった結果結構してくれた人がいます。



汎山の保護者にもピラをまきまきました。(2006年3月16日都立南多摩高校正門前)



「障害者自立支援法」撤廃のピラを汎山まきまきました。(2006年3月31日 日比谷野外音楽堂)

です。でもその後デモ行進をしていろいろな所を回った時は結構

## 国会までデモで頑張った

クーちゃん

三月三十一日(金)日比谷野外音楽堂で日

の丸君が代の反対集会に行ってきました。この日は三時に「ほっとスペース 八王子」を出発しました。十六時四五分の日比谷野外音楽堂に着きました。会場に着くと早速、障害者自立支援法のピラ撒きと



いろんな方が署名してくださいました。(2006年3月31日 日比谷野外音楽堂前)

## 私の知ってる先生が処分された

久島 茉莉

三月三十一日、日比谷野外音楽堂で日の丸・君が代集会とデモに、行きました。この日集会の前に、会場の入口近くで障害者自立支援法撤廃のピラと署名活動と募金活動を皆でしました。私は、署名と募金活動しまし

三月三十一日、日比谷野外音楽堂で日の丸・君が代集会とデモに、行きました。この日集会の前に、会場の入口近くで障害者自立支援法撤廃のピラと署名活動と募金活動を皆でしました。私は、署名と募金活動しまし

大声で「障害者自立支援法撤廃の署名お願いします」と、言ったら署名がどんどん集まり、募金の方も二千円位集まりました。その後、集会が始まって座っていたら風が吹いて来て寒くてブルブル震えてました。私が、一番許せなかったのは拜島高校の先生が、解雇処分をつけたことに頭に来ました。何で、日の丸・君が代強制しなければいけないのかそのために教員が解雇をしなければならぬのかそれがおかしいと思う。その後、国会議事堂まで、デモ行進しました。デ



汎山の署名集まりました。(2006年3月31日 日比谷野外音楽堂前)

た。



市役所では正面入口でも裏入口でもビラをまきました(2006年3月30日市役所裏入口)

私は東京コロニー中野工場に通っています。費用負担については福祉減免で一割負担はまぬがれませんが、私たちのような収入を得られない「障害者」に費用負担をおしつけるのは絶対に許すことが出来ない問題です。この状

「健常者」は働いて収入を得ることが出来るのに、「障害者」は満足に働くことが出来ずに収入を得られないのは、非常に不公平な話です。今の自立支援法はマイナス要素ばかりで、自立支援つまり、一人立ちして、助けてあげようという言葉が法案にはまったくもっていません。払えないお金をありやり払わせたり、せつかく「障害者」がやっと少す収入を得て、やっと当り前の生活がでさかけ

訴えるときに訴えていかないとインチキな自立支援法は廃止にならないので、しつこく勝利するまで、戦い、訴え続けていきます。

四月から法律が施行されたので、私たち「障害者」の戦いは始まったという感じです。

### たたかいはこれからだ

私はほっとスペース八王子や他の団体と共に五月から厚生労働省や板橋区役所に行ってインチキで障害者を傷つける自立支援法廃止運動を行います。

## 投稿

### 今後の自立支援法撤廃運動について

仁木 忍

モ行進の時クーちゃんがつッンしてしまい国会に向かって障害者自立支援法を撤廃にしろと歩きながら怒鳴っていました。私も、つられて障害者自立支援法撤廃を大きい声で怒鳴ってしまいました。怒

鳴っていたらデモ行進してる人がビックリして見えました。でも、こつやつて国会前で怒鳴っているとすっきりして楽しかった。



国会前の訴えで筆者も演説しました。白杖が光に当たって障いている(2005年10月19日国会前)

### に費用負担があるのは自立生活破壊だ

#### 「障害者」の収入保障がないの

況だと利用サービスも受けられないし、食事もできずに、生活することが困難になり、とてもでないけど、自立して生きていけません。

てきたのに、重い費用負担で収入を減らし、「障害者」の夢をぶち壊すのは断固として許せない問題なのです。



みんなで街頭で「障害者自立支援法撤廃を訴えて演説しました(2006年3月29日京王八王子駅前)

厚生労働省は政省令で「障害者」に対して納得いく説明をしようとしましたが、これでは納得いく説明をやったとは思いません。

低所得→低所得に對して重い費用負担をおしつけ、収入を減らし、「障害者」の生活を壊しているのです。これではとてもでないけど、理解することが出来ません。横浜市だけしか費用を負担せず助成しているだけで、他の区市町村は「障害者」に負担をおしつけて、非常に不公平で、許せない気持ちです。こういったことをふまえ、私は五月に他の団体と共に、板橋区役所の障害者福祉課や厚生労働省五階の障害者保健福祉部に行って、「障害者」を傷つける自立支援法撤廃に向けて訴え続けていきますので、他の団体の力を貸していただきたいのです。皆さんの力でインチキな自立支援法を撤廃にしましょう。

# 特集：ほっとイスマとは



村里先生の指導の下、みんなで作るから早く出来上がる食卓会

## ほっとスペース八王子の今後と展望を考える

二〇〇五年十二月 植松恵樹

### ★ 私が考えるほっとイスマ ★ 大衆性と社会性をもつべき

歴史的にみても「精神障害者」の社会的地位(地位)は低く、国家、国民的にも社会からの排除、隔離が当然という合意がなされてきた。これは世界的にも言える事だと思う。数年前、中国の「精神病者」の写真集を見たことがあるが、掘立小屋に足かせをされていた。ヨーロッパにおいても公然と見せ物にするという歴史もあった。ナチスの「精神病者」虐殺も歴史的事実である。

この事から言えるのは、「精神病者」という存在そのものが、何ら国家、社会から期待されていないという事なのだ。運動的に言えば、国家や体制に公然と弓を引くべき存在と言えらるだろう。常に犯罪予備軍とみられ、差別、隔離しようとする国家に対しては、自らをそう位置づけるのは、本質的には正しい。国家や体制もそう考えていると思う。



100インチ大画面を使っているビデオ上映会

これは、「精神病者」にかぎったことではない。資本主義下の労働者、部落民、アイヌ、在日、社会的弱者など本来すべて

そんなのだが、現状は、そうなっていない。国家もすべてにそうなられては、体制の危機だから、その為の政策を取らざるをえない。実際様々な政策をとっている。その対象となるべき人々に少しは、良くなるような政策であったり、方向性を示してはいると思う。不十分ではあれ

しかし、「ここでよく見なければならぬのは、「精神病者」にもそうであるべきなのに、その政策は、すべてにおいて保安処分的である(自立支援法でさえも)。つまり、国家の立場から治安第一とする政策なのだ。部落、アイヌ、ハンセン氏病、在日(保険、年金、就労などで)などにおいて、不十分でも良い方向性の政策をとれるのに、「精神障害者」に

対してはとれないのである。これは運動的に弱い(その面もあると思う。特にハンセン病の患者の全国的な運動とその勝利とを比較すると)というだけでなく、本質的に国家、社会、体制と「精神障害者」は非和解的な存在だといへばさうだろう。そうであるなら、「精神病者」がどのような思想をもち、何をなすべきか、というのは、自ずと明らかになるのではないかと考える。これは個々人の思想の自由などという問題ではない(本質的には)。



個々人のレベルに合わせて大盛況のパソコン教室

現実の「ほっとスペース八王子」を考えると、指導部、職員は上記のような考え方をもちつつ、個々の会員に対しては、

- ☆ 心やすらぐ居場所の提供
  - ☆ 個々人が社会で生活していく為の最低限のこと
  - ☆ 自立生活にプラスになるプログラム・就労、授産
  - ☆ 年間のレクリエーションや行事
  - ☆ 基礎学力一新聞や本を読めるように
  - ☆ 社会のでき事の理解
  - ☆ 反戦、平和活動などの取り組み
- などを、確実に、力を入れて、成果が出るようにする事ではないか。何よりも職員の総合的な力量が問

# 特集：ほっとイズムとは



注意力集中ゲームなどいろいろ趣向を凝らせて楽しんでいます

われる。

という事で、特にめあたらしい「イズム」ではないが、こんな所ではないか。

会員の自主的、自立生活と社会へ眼をむける活動、それを「障害者」自身の手にするような「ほっとスペース八王子」、それが私のイメージである。

## ※ もう少し、文化的な かもつけければ

俳句、短歌、詩、文学(小説)、雰囲気、会話など、教育差別もあると思うが、レベルが低いのではないか、と思う。

## 二、今後一年後、二〇〇九年四月の「ほっとスペース八王子」

これについて  
は、一体のもの  
として考えたい。

この一、二年  
については、一  
で述べたAの内  
容の充実が求め  
られる。職員、  
運営委員が中心  
となり、本当に  
成果の出ること  
が求められる。



車載拡声器も取り付けてパワーアップした「ほっと」車

機械的、義務的なプログラムの消化ではなく、やはり専門的な知識も求められよう。

〇六年四月の自立支援法施行、三年後の見直しにしても、反対した法律については、成立したから認めるというのではなく、あくまで反対して行くべきである。それは、「精神障害」の生活と権利を守るという事でもある。

但し、あくまで、ほっとスペース八王子を守り発展させるという点から、この一、二年の間には、N

PO法人になり、  
小規模社会福祉法人への移行が急務となる。

その中で、今までできなかったことなど、どんどん取り入れていくべきだろう。

会員の高齢化なども考えれば、グループホームなども課題となるだろう。

私が考える最大の理想は、「精神障害者」が働き、その収入で自立した社会生活をするということである。これが基本ではないかと考える。

法人化などで、その方向性に近づけることができれば、どんどんやっていくべきだ。

職員が大変だから、などというところではない。職員の仕事として、そういう事に情熱をもつべきではないか。職員は税金ではなく、自立で収入をえるという事をもっと考えるべきだと思う。みんなで収入をえて、会員に還元するようにすべきだ。職員は作業所運営のプロになるべきだ。

## 「ほっとイズム」とは

### 【はつと】

「ほっとイズム」とは「ほっとスペース八王子」

らしさということだろうが、そもそも「ほっとスペース八王子」らしさとはどこから来たのだろうか。



テクニックも高度化してきたエレクトーン教室

堀部 正



# 特集：ほっとイスマとは



プラスチックバットとプラスチックボールの身体に優しい三角ベースボール

「ほっとスペース八王子」が設立される時代背景、その歴史があつて「ほっとスペース八王子」らしさも発生してきたものと思える。ここでは「ほっとスペース八王子」の発生根拠、論理必然性とも言えるものを述べてみたい。

## 「精神病患者」の歴史

「ほっとスペース八王子」の設立経緯については「ほっとスペース八王子」のホームページ上で公開されている文書を参照して欲しい。

そこでは触れられていないが、原理的概括的な規定として

は次の通りであろう。

「精神病患者」は資本制社会という生産過程を流通過程に取り込んだ社会経済構成体の中では存在できない者として位置付けられてきた。それは経済性、効率、能率を先行させる社会であるからだ。資本制社会が誕生した途端に「精神病患者」は檻の中に入れられ、両手両足に鎖を着けられて閉じ込められる運命だった。日本においては封建社会では上流階層に属していた「精神病患者」は座敷牢や蔵に囲われ者とされていた。しかし、一般の庶民階層では村全体、



本格的なダーツもやはり集中力を養い、射的心をくすぐって楽しい

地域全体で包み込まれる存在であったようだ。分裂病(統合失調症)、うつ病のような病気には罹患する(複雑な人間関係が絡む関係性が存在する場合以外は)関係性もなかったように思われる。

しかし、土地と身分から解放された庶民階層は賃金労働者が農民として生きていくしかなくなり、資本制社会において「精神病患者」は生産過程では役に立たない邪魔者として扱われてきた。

その結果、家の中や地域の中で生きていくことは困難になり精神病院などの地域からの隔離された施設や場所での生活が主なものとなった。しかもそれは戦争などのその社会の危機の際には役立たずとして(日本では)餓死させられるか、ドイツやオラン

ダ、北欧など安楽死が制度化(過去も含む)しているところではガス室に送られたり、安楽死させられてきた。

現在ではなるほど社会がかなり豊かになっていてるので、すぐには安楽死ということではなくなっている。しかし、本質は役立たずということでの排除、隔離することで生産活動に邪魔をさせないということであろう。(労働安全衛生法・同規則参照、100職種近い資格喪失条項)

それがいまでは家庭での隔離、地域での隔離、病院への隔離、(中間施設も含めて)施設への隔離という形を取っていると思われる。實際上「精神病患者」の就労がうまくいっていないことをみれば一目瞭然だ。うまくいっている例を挙げてみてもそれは労働現場に受け入れることが出来る一部の「精神病患者」のみに限られていることだろうかといえることだ。

## 「精神病患者」をめぐる現実

すべての「精神病患者」が労働現場にいる、労働現場に受け入れられているわけではない。すべての「精神病患者」が労働現場に受け入れられるということとは



2006.01.13  
書する楽しみが分って、次第に参加者が増えている書道教室

# 特集：ほっとイズムとは



いろんな問題を話し合っ決めて、解決する気分が出来てきた

効率や採算や経済性を考えるいまの社会では困難であろう。すべての「精神病患者」を労働現場に受け入れさせることを実現することが「ほっとスペース八王子」の目標である。とすれば、どうい活動が「ほっとスペース八王子」に求められるのか？

これが「ほっとイズム」の原点だと僕は思っている。「ほっとスペース八王子」で行われていることが現実の社会でも労働現場でも地域社会でも出来ないはずはないと。採算は関係ないし、経済性も関係ない。効率、能率なんてとんでもない。しかし、「精神病

者」は自分に甘えないで、病気の所為にしないうで努力していくこと。「健康者」と呼ばれる人たちが能力や能率や効率ではなく、人間として肩を並べていくこと。そのための努力はしていく。要するに、私たち「精神病患者」が「精神病患者」を受け入れられる社会を築いていくことが目的ではないだろうか。

## 【何をやるのか】



駆け引き、タイミングを見計らうなどモノボリは本当に交渉力を身につける

話す、書く、聞くことを基本に学力も身につける。

教育差別の中で一般教養が奪われているのでそれを身に付けていくことでコミュニケーションを図る。表現力を身につける事を基本にして対人関係能力をつけるための考えられる

ことで実現可能なものはすべて行う。

それを基礎にして、この現実の社会の中で就労出来る仲間はどこし労働現場に出て行く。さらに、就労出来る仲間は労働現場に「精神病患者」を理解してもらえる仲間を募る活動もしていく。その近道は労働組合活動だ。「精神病患者」が就労出来る職場には労働組合がない場合が多い。その場合は地域労働

組合に加盟していく。

努力してもこの差別社会では就労がちよっと困難な仲間には就労ではなくて、地域の中で「健康者」労働者と手を結べるように図っていく。市民運動

や地域の取り組みなどを基礎にしてそれを実現する。労働組合も生活次元で協力していただきたい。

したがって、職員や運営委員のすべきことは、会員をこういう方向性に導いていくことだと思つ。そのためには自分自身が絶えず研鑽し、会員のあらゆる要望に心えるだけの力を準備しておく必要がある。

そのためには職員や運営委員のための学習会、研鑽会は随時行わなければならない。多摩総での研修だけで良しとするのではもちろんない。「ほっとスペース八王子」独自の学習会、研鑽会が当然必要とされる。資本制社会を見据え、その現実の中から「精神病患者」の有りうべき姿を実現するために歴史、経済、社会のあり方、その捉え方を学ぶ必要もある。就労と結びついて労働運動の担い手へと飛躍していくためにも職員や運営委員は労働法制、労働運動についての基本を学ぶ必要もある。

その上で、「精神病患者」を受け入れられる社会を「健



上手くプレゼン行っ、賛助会からの美味しいご褒美サービスも(2006年4月8日総会後の会食)



「日の丸君が代」押しつけ反対行動に地元の学校でピラをまいたり今年は総決起で参加。

何万ノ精神病患者  
八実ニ此病ヲ受  
ケタルノ不幸ノ  
外ニ、此邦ニ生  
レタルノ不幸ヲ  
重ナルモノト云  
フバシ。精神病  
者ノ救済・保護  
ハ実ハ人道問題  
ニシテ、我邦目  
下ノ急務ト謂ワ  
ザルベカラス。

大正七年(一九一八年)と言えは、今から九十年  
くらい前になるだろうか。東京帝国大学精神病学教  
室主任(教授)であった呉秀三博士は、日本の惨憺  
たる実情を七年かけて調べ、『精神病患者私宅監置ノ  
実況及び其統計的觀察』という大報告書を出した。  
この中で、国や社会が「精神病患者」に医学の恩恵  
を与えるどころか全く顧みようとしない状況をなじ  
り、精神病院設立の必要性を強く訴えた。「我邦十

## 「精神病患者」解放運動の論理

常者」と共に築いていくことをどのように進めるの  
かということだ。社会の主人公は労働者であるとい  
うことは言を待たない。労働者としてその原動力  
となる階級意識を持った労働者(団体)、労働組合  
との連携はその意味でも必要だ。  
短期的には現在の政府が進めている戦争政策、戦  
争推進政治との対決は必須のものだ。上に述べた事

報告書の中で博士はこのように述べている。



ニュースの丁合作業もなるべく全員で行うようになりました。

精神病院の話より)  
それから二十年後の現在、どうなっているのだろ  
うか。病院での暴力や作業療法という名の強制労  
働、そして薬づけなどは完全になくなっていない

から七十年近くたった今日、日本の精神病患者は現代  
文明の恩恵に浴  
しているとは到  
底いえない。こ  
の人たちは、い  
まも国や社会か  
ら明らかに捨  
てられている。  
相も変わらず此  
邦に生マレタル  
ノ不幸、を背負  
わされている。  
(この国に生ま  
れたるの不幸、

植松 恵樹

業を進める上でかなりの妨害要因となるからだ。  
「精神病患者」の歴史、「精神病患者」の現実、その現  
実に踏まえた「精神病患者」の立ち居振舞いはいかに、  
その実現形態の一部が「ほっとスペースス王子」の  
日常の中に現れていると思う。これら総体がほっと  
イズムだと僕は考えている。(二〇〇五年十二月記)

か。ある病院  
では、たしか  
に、患者の人  
権宣言などと  
いうものがロ  
ビーに掲示さ  
れたり、患者  
様などという  
呼称を使っ  
りしている。  
しかし、面  
会者が自由  
に病棟内をも見  
る事はできな  
い。これは、個人情報保護法との関係もあるだろう。  
この法律が、病院内を外部からかくすものでなければ  
よいのだが。結論的には、今だ、病院内のすべて  
が我々にオープンにされていない、という事だけは  
言える。



昨年から関西も含めて在日外国人、アジア人問題をみんなで勉強し始めています(2006年5月7日神奈川県横浜新市観見公会堂)

院内における患者の自由と権利を勝ち取ること  
は、患者自身のたまたかいいかんにかかっている。院  
内の良心的労働者、我々の連帯も必要となろう。  
私は、「精神病患者」に対する差別、偏見が百年前  
と何らかわっていない、というつもりはない。院内  
における問題も外部から、また内部から変わってき  
ている。そして、「ほっとスペースス王子」のよう  
に街中に作業所も存在するようになってきた。  
解放運動という場合、  
一、患者、家族が病名や、「精神病患者」である事を  
公然と明らかにする。



初めての海外研修旅行に韓国を選び事前研修をして勤労千葉と共に日本代表団の一員として参加しました。(2005年11月12日前夜祭で)

不正義、悪法などにも反対する活動をしよう。(ハンセン病患者の運動、フランスの学生、労組などの闘いに学ぼう)

以上の六つの方向性にすすんでいけば、それが精神障害者解放運動と言えるのではないだろうか。このように意識変革ができれば、五〇％は具体的に勝利した時に達成されるのだと思う。

作業所関係などのニュースを多くみるが、「解放運動」という文字をみる事はほとんどない。それでは何をめざすのか、と言えよよくわからないものが多い。関係者は、国家による百年にもわたる、「精神病者」への差別、隔離政策、

二、患者、家族が中心となって、社会的な差別、へん見とたたかう

三、入院している場合などは、自身の生活、権利については堂々と要求する。(医師、看護士などのいいなりになる必要はない)。

四、どんな社会の中へ出ていく。

五、作業所などでも(もちろん、「ほっとスペース八王子」内でも)自由を求め、権利を主張する。当然職員とも対等の立場です。決まり事もみんなて話し合ってきめよう。

六、反戦平和を求め、外へ出て活動しよう。不平等、

## 2006年5、6月の活動予定

5月 12日	ツツジ狩り(青梅塩船観音)
15日	長沼団地清掃
17日	ナイアード訪問
20日	憲法9条を変えるな! 署名運動で風を起そう! 5・20全国集会 と き◆(土)午後1時~4時15分 ところ◆千代田区公会堂(地下鉄「九段下駅」3分)
21日	「みんなちがってみんないい」(市役所北側河川敷広場)
23日	施設見学バスツアー
26日	お誕生会
27日	八王子ワークセンター総会(台町市民センター) 八王子障害者団体連絡協議会総会(台町市民センター)
6月 2日	教育基本法の改悪をとめよう! 6・2全国集会 と き◆午後6時~ ところ◆東京・日比谷野外音楽堂 集会後国会デモ 主 催◆教育基本法の改悪をとめよう! 全国連絡会 オーケストラと歌う市民合唱コンサート(八王子いちようホール)
18日	

そして今に続く同様の扱いに対して、どう考え何をしようとしているのか、ニュースなどでは伝わっていない。

「ハンセン病問題に関する検証会議」(差別とハンセン病・畑谷史代著・平凡社新書)の報告書では、ハンセン病患者と精神病患者の処遇の歴史や法制を比較。らい予防法の「隔離の発想」が現在の精神医療に続いており、両疾患に対する差別、偏見の強化、固定を招いている、と指摘。公衆衛生政策全般にわたる人権侵害の撤廃を求めている(同書より引用)。

こういう事は、ハンセン氏病関係者から言われるべきことではなく、精神の関係者こそ声を大にして言うべきではないのか。またこの報告書ではこうも言っている。「福祉界は、問題を完全に医療の手にゆだねて背景に退き、そこに献身的に働く人々を美化し、隔離という枠に依存し、そこに逃避した」の

だ。

先の六項目にしても、そんなにむづかしい事ではない。その時々「精神病者」の病状などに配慮することは当然だ。その上でこの方向性をめざしていけば、明るい未来がみえてくるのではないか、と思う。「ほっとスペース八王子」会員のみなさんに考えていただきたいと思います。思想がかわり行動にうつせば、まったく新しい社会がみえてくる。長年の差別、へん見にいかり、悪法たる障害者自立支援法に反対する声を大にして、行動するその先に、会員と「ほっとスペース八王子」の未来がみえてくる。

## 編集後記

読者の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今月は長房の端午祭に行ってきた。長房の端午祭は去年の鯉のぼりがすんなりだったような気がします(クー) ☆ゴールデンウィークも終わり、天気は少し早めの梅雨に近づいたかのようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新緑の季節、近くの森でも散歩してみたいかがでしょうか。雨が降っていても、気持ちが良いものですよ!(フ) ☆最近になって、「ほっとスペース八王子」にもだいぶ慣れてきました。「ほっとスペース八王子」の主旨もわかってきました。後は、もっと体を「ほっとスペース八王子」に慣らして、生活を充実させていきたいです。(S) ☆みなさんいかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目で風邪引きさんが多くなりました。皆様もお気を付けてください(菜) ☆今年も梅雨前の嫌な季節になりました。これを乗り越えて頑張りましょう!(E) だいぶ暖かくなってきました。休日に家の近くで、三年振りの川釣りをしました。護岸工事で釣りがだいぶ変わっていました。水深は浅くなって、魚も大きな鯉ばかりで、全然釣れませんでした。以前は小さな鮒や鯉がいっぱいたんですけどねえ。時期が悪かった(い) ということであれはいいですが…(G)